

佐世保市健康寿命延伸推進協議会
設立趣意書

世界最長の平均寿命を達成している我が国ではありますが、現役時代からの予防・健康づくりの取組や、高齢者のフレイル（虚弱）状態へのケアがこれまで必ずしも十分ではなく、健康寿命（健康で生きがいを持ち自立して暮らすことができる期間）と平均寿命に乖離が大きいことが社会保障関係費の増加にもつながっているため国家的課題となっています。

健康寿命を延伸させることができれば、本人が健康に暮らすことができるだけでなく、医療費や介護費の適正化にも貢献し、更には医療や介護する側の負担も減らすことができるため、国民一人一人が自ら日々の人生を楽しみ、最期まで自分らしく生きることができる「生涯現役社会」の実現につながります。

佐世保市では、市民の健診受診率が低い中、市民が自分自身の健康状態を把握せず、生活習慣に起因する疾患への罹患もしくは予備群が増加しているため、今後、市民の健康寿命延伸につながる取り組みの重要性が増しています。

また、少子高齢化が進行し市の財政逼迫が懸念される中、市の産業振興や若年層流出防止のために、市内の景況を好転させる対策を打つ必要性が高まっています。

そこで、佐世保市の地域課題・地域特性を踏まえた「生涯現役社会」を作り上げてライフステージや個人の健康状態に応じた健康づくりを社会全体で支援する体制づくりに加え、医療・介護周辺のヘルスケアビジネスを創出することにより、地元の雇用・地域経済への貢献を目指すために、「佐世保市健康寿命延伸推進協議会」を設立することといたしました。

本協議会の趣旨にご賛同賜り、ご参画をお願い申し上げます。

平成 29 年 3 月